

| 取組テーマ | 取組目標 | 具体的な活動内容 | | 担当者 | 活動主体 | 取り組んだこと、その実績 | 1年を振り返って |
|-----------|-------------------------|----------|---|----------|------|---|---|
| 環境についての学習 | 地域環境や地球環境の保全について理解を深める。 | 1 | 気候変動、地球温暖化について学ぶ | 社会担当職員 | 1年生 | ・1 南米の熱帯林の伐採による「地球温暖化の加速」を学ばせた。また、開発がもたらすメリットデメリットについてまとめ理解を深めさせた。 | <p>【取組の評価】<input type="checkbox"/>達成できた <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ達成した <input type="checkbox"/>達成できなかった</p> <p>【理由】</p> <p>それぞれの担当者が、学習目的を意識して取り組んでいる活動内容のため、達成していると考えられる。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>学習した内容が、各家庭や、社会の中で生かして行動できるように、実践力をつけていくこと。授業で取り扱っている職員は、SDGsについて理解の上取り組んでいるが、取り扱っていない教科の職員の意識改革が必要。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>取り組みの継続、担当職員だけではなく全職員で取り組むような活動</p> |
| | | 2 | SDGsについて学ぶ | 社会担当職員 | 3年生 | ・2 UNICEFの資料を基にしながら、SDGsの現状を学ばせた。日常生活でこれからできることは何かを考えさせた。 | |
| | | 3 | 学校の周辺の自然について調べる 金属の分類とリサイクルについて | 理科担当職員 | 1年生 | ・3 学校に自生している植物の分類を調べた。地域環境について、外来種が自生していることから、地域環境の保全について学習した。 金属について、スチール缶とアルミ缶の分別の方法について学習し、再利用やリサイクルについて考えさせた。 | |
| | | 4 | 外来種による生態系への変化について学ぶ 日本における発電方法と限られた資源について学ぶ 微生物が分解できないプラスチックによる影響を考える | 理科担当職員 | 3年生 | ・4 外来種による生態系への変化を見直しさせた。 火力発電の割合の高い理由と環境への影響、代わりとなる発電手段を考えさせた。プラスチックのマイクロプラスチック問題や、微生物が分解できない点から、いかに使用量を減らすべきか考察させた。 | |
| | | 5 | 自然災害について知り、身を守るための知識を得る | 保健体育担当職員 | 2年生 | ・5 自然災害の写真や動画を活用することで、現実的に捉えさせた。災害が起きる前と、起きた際に、生徒自身ができる準備とできる行動について、考えさせる事が実践的な学びとなった。 | |
| | | 6 | 環境汚染について学ぶ 水の役割、生活排水の処理、ゴミ処理について学ぶ | 保健体育担当職員 | 3年生 | ・6 上水(水道水)は、浄水場で飲み水としての水質基準を満たしていること、下水(生活排水)する水は、下水処理場で衛生的に処理して川や海に放水していることを学ばせた。ゴミに関しては、3Rの推進により循環型社会を目指していくことが環境汚染を食い止めるということを学ばせた。 | |
| | | 7 | 発電方法について学ぶ | 技術担当職員 | 2年生 | ・7 エネルギー変換に関する技術で、発電方法と発電方式のメリットとデメリットを学ばせ、省エネルギーに関して考えさせた。 | |
| | | 8 | 食品の廃棄やフードマイレージについて学ぶ | 家庭科担当職員 | 1年生 | ・8 地産地消の大切さ、買い物をするときに無駄な廃棄にならない購入をすることが、環境を守ることに繋がると学ばせた。 | |
| | | 9 | 洗剤の種類と河川の汚染について学ぶ 衣類のリフォーム、リサイクルによる循環型社会を目指すことを学ぶ | 家庭科担当職員 | 2年生 | ・9 石油系洗剤と石けんの違いについて学び、自然界で分解できないことが河川の汚染につながることを学ばせた。 衣服計画を立てることが、資源の無駄遣いにならないことに気づかせ、着られなくなった衣服を廃棄するのではなくリサイクルすることを実践することで意識付けを行った。 | |
| | | 10 | 有限である化石燃料と地球温暖化の関係を知り、地球に優しい再生可能エネルギーの利用について学ぶ | 家庭科担当職員 | 3年生 | ・10 予算生活を行う中で中学生ができること、実践していることを確認した。消費者の消費行動が、地球規模の環境(自然、社会)を左右することや、先進国としての責任を考えさせた。循 | |

学校エコ活動シート

| | | | | | | | |
|------------------------|---------------------------------|----|--|-------------|-------------|--|---|
| | | | 家庭における省エネルギーの方法について考える 資源の消費と廃棄物について考え、循環型社会を 推進するための消費者の行動について考える | | | 環型社会をつかっていくためには、一人ひとりがどれくらい意識 して取り組めるかが重要であることを学ばせた。 | |
| | | 11 | 自然愛護について考える | 道徳 | 全学年 | 11 1年「桜に集う人の思い」身近にある自然を感じることから 自然愛護を考えさせ、そこから、環境の保全や地域の環境につ いて学ばせた。 2年「冬の使者マガン」人間と自然の共存について考えさせ た。人間本位の考えを改め、自然環境の保全に努めようとする 態度について考えさせた。 3年「よみがえれ、日本海!」漁師や多くのボランティアの人々が 日本海をよみがえらせる行動を通して、自然を愛し感謝する心 や自然環境を守り抜こうとする態度について考えさせた。 | |
| | | 12 | ビーチクリーン活動 | 総合 | 1年生 | ・12 ビーチクリーンの事前学習及び活動をすることで、地域 のゴミについて問題など体験的に学ぶことができた。 | |
| 電気、水、 物を大切に 使う活動 | 電気、水、紙などの 資源を大切にす ることを学ぶ。 | 1 | 照明をこまめに消す | 全職員 整備委員 | 全校生徒 | ・1 整備委員会で、節電の活動の一つとして、移動教室時の教 室の照明、扇風機、エアコンの消し忘れがないか、クラス全体で チェックするシステム化に力を入れた。 保健室の照明は、常に半分だけ使用し節電に心がけた。 | 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 整備委員が中心となって取り組んだ活動により、消し忘れがほとんどな くなったが、職員による使用後の消し忘れは、意外に多かった。また、エ アコンの使用、設定温度は、使用する教員によって差があった事などか ら。 【今後の課題】 7月のエアコンの温度設定を最低の19℃で使用しているクラスが多 く、外気温の差は10℃以上という状況が多々見られた。廊下には、教室 から冷気が流れ出ており、教室では、ジャージを着ている生徒が半数を 超えていた。このことから、風向は、スイングにすることで一カ所に冷風 がたまらないようにし、設定温度を27℃のような基準を設けることが必 要だと考える。 職員のPCの電源を落とさずに、退勤している。土日や長期休業日も含 め、取り組んでいくことが大切だと考える。 【次年度への引継ぎ事項】 取り組みの継続、職員の取り組みへの意識向上対策 |
| | | 2 | 使用していないPCを閉じる 使用していない印刷機の電源を切る | 全職員 | 全職員 | ・2 何人かの職員による忘れはあるものの、大方意識して取り 組めた。 | |
| | | 3 | エアコンの適切な温度設定の徹底及び 使用していない教室のエアコンと扇風機の電源O FFの徹底 衣服の調節で、エアコンの使用を控える | 全職員 整備委員 | 全職員 全校生徒 | ・3 電源OFF徹底は、整備委員中心に行えたが、設定温度や、 エアコンの使用については次年度以降の課題。 授業時に、教室が適切な温度設定になるように調節した。 | |
| | | 4 | 手洗い時、石けんで手洗いは水を流さない | 全職員 整備委員 | 全職員 全校生徒 | ・4 今年度から、ワックスがけ時に、ワックス分配に使ったバケツ を使用せず、ペットボトルに換えることで、バケツの洗浄や、配っ たワックスを無駄に使い切る等をなくした。 | |
| | | 5 | 古紙の再利用 | 全職員 | 全職員 | ・5 職員室や保健室など電話が設置しているところの、電話メ モは、裏紙使用。保健室での、生徒の面談で使う用紙は、裏紙 使用。 | |
| | | 6 | 授業の提出物などは、極力 iPad で提出させる | 全職員 | 全校生徒 | ・6 授業の学習内容を生徒の手元に残しておきたい印刷物は 今後もなくせないが、アンケートや中央委員会や専門委員会な どの資料、連絡の紙媒体は減らすことができた。 | |
| 捨てるごみ を減らす活 動 | リサイクルに努め 廃棄物を削減す る。 | 1 | 電子データの活用による印刷物の削減 | 全職員 | 全職員 | ・1、5 職員が職員向けに配布する印刷物はほとんどなくなっ た。授業で使用していた資料などのプリントをタブレットで提示 するよう努めた。 | 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 取り組みとしては、達成しているといえるが、裏紙が継続して存在するこ とが、削減への意識評価マイナス点。 |
| | | 2 | プラゴミ等分別の徹底 | 全職員 整備委員 | 全職員 | ・2 徹底されていた。 | |

学校エコ活動シート

| | | | | | | | |
|--|--|---|---------------------|--------|--------|---|---|
| | | 3 | 牛乳パックを洗ってベルマーク運動に参加 | 牛乳担当職員 | 牛乳飲用生徒 | <p>・3 飲用生徒自身に、牛乳パックを洗浄させ回収することでの古紙のリサイクルを推進し、ベルマーク活動への参加も兼ねることができた。</p> <p>・4 職員への連絡や、会議での資料は、極力データで行った。紙媒体を使う場合は、裏紙を使用した。職員室や保健室など電話が設置しているところの、電話メモは、裏紙使用。保健室での、生徒の面談で使う用紙は、裏紙使用。</p> | <p>【今後の課題】</p> <p>印刷物を完全になくすことは、業務の伝達徹底等でないが、それらの裏紙の使用は当然のこととして、足りなくなってから、B5 サイズや A4 サイズの印刷物は連写して B4, A3 の紙を使用するのではなく、日頃から紙の使用枚数を減らす取り組みへの意識と取り組みが必要ではないかと考える。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>取り組みの継続、職員の取り組みへの意識向上対策</p> |
| | | 4 | 裏紙の使用 | 全職員 | 全職員 | | |
| | | 5 | 資料をデータで提示 (iPad) | 全職員 | 全職員 | | |

●写真等の記録:



印刷機の電源入れ忘れ防止策のひとつ



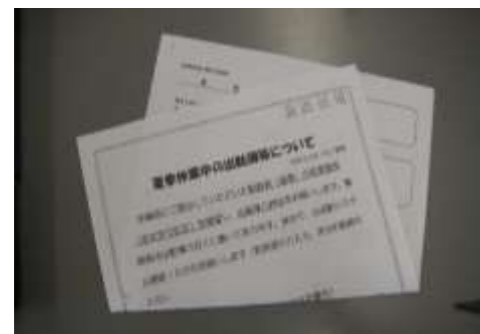
エアコンのない理科室にゴーヤのグリーンカーテンの設置



教室の照明、エアコン、扇風機、テレビの電気消し忘れ毎チェック表 (整備委員会)



各クラスの月ごとの電気消し忘れなし集計表 (整備委員会)



職員連絡紙媒体は、裏紙使用



ワックスをペットボトルに入れ配付・回収

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

森井康正

【今後の方向性について】

これまでの取り組みを継続していきたいと思います。

また、様々なエコアクションは、地球規模での課題に対して、意図的且つ具体的に行っているということを、生徒・保護者・教職員などを含めた多くの人へ伝えることを通して、環境保全への啓発活動につながるよう、計画的に取り組んでいきたいと考えます。